



北海道泊村の児童と交流（小学生国内派遣事業）

（関連記事5ページ）

2010
国民読書年

じゃあ、読もう。

生涯学習だより

ふれあい

いかた

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

9月のテーマ“お年寄りや目上の人を大切にしよう”

（実践方法）

- お年寄りを囲んで、若い頃の苦労話や昔話に耳を傾け、お年寄りへの理解と敬愛を深めよう。

平成22年
9月1日発行

No.65

9月号

公民館だより

大七夕飾り

中央公民館

中央公民館正面玄関に8月2日から9日の間、大七夕飾りを設置いたしました。中央公民館ロビー、生涯学習センター内の図書館・図書館に短冊および回収箱を置き来館者にお願ひ事を自由に書いてもらいました。その他の飾りの作成や笹への飾り付けについては、学童クラブの児童の皆さんにご協力いただきました。短冊には、ユニークな願ひや切実な願ひなどのさまざま願ひ事が書かれており、自分自身の願ひ事を書くことにより日頃の生活の思いを改めて振り返ることができたのではないのでしょうか。



最近では七夕飾りをあまり見掛けなくなったせいか、足を止め眺めて行かれる方もおられました。時節折々の行事を行うことで、子どもたちをはじめ、地域の情緒を豊かに育む事ができたのではないのでしょうか。



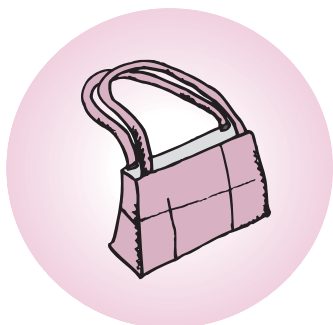
「高齢者手芸教室開催！」

町見公民館

6月23日(水)町見公民館において高齢者手芸教室を開催いたしました。当日は畑山千沙子先生を講師にお迎えし、学級生5名が自前の裁縫道具を持参し、買い物バック、ポシェットやショルダーバックの作品作りをしました。

講師の先生の熱心な指導のもと、この日以外にも、数回、町見公民館で手芸教室を開催しました。学級生は、裁縫で苦勞された所もあるようでしたが、家庭に帰られてからも、家事の合い間を見ては作品作りに励まれたようです。学級生からは「歳を重ねても、昔取った杵柄(きねづか)で楽しく裁縫が出来るものだね。」との意見が出ました。この手芸教室を通して、講師の先生や学級生相互の交流が深まることも、素敵な作品が出来上がりました。

この手芸教室の作品は、11月3日(水)文化の日開催予定の町見公民館まつり(文化祭)に展示されます。

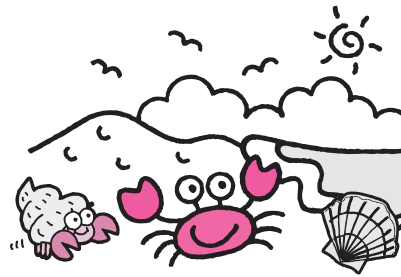


環境教育事業のご案内

瀬戸公民館

瀬戸公民館では、9月5日(日)に野外での自然観察会を予定しています。ご興味のある方は、瀬戸公民館(57-2111)までお問合せください。

- ・日時 9月5日(日) 午前9時～12時
- ・場所 三机～松之浜 ※小雨決行
- ・内容 野外での自然観察会(海岸での生物観察など)



高齢者対象 初心者パソコン教室開催中

現在、瀬戸公民館では瀬戸地域の高齢者を対象としたパソコン教室を、7月～8月の間にかけて開催しています。

この教室をきっかけに、少しでもパソコンに慣れて頂ければと思います。

受講者に自由にパソコンに触れても

らいながら、解らないことがあれば、

講師の方と一緒に問題を解決していく

方法で教室を進めています。また、

テキストを使いながら、パソコンの基

本操作などについても学んでいます。



親元離れ、合宿生活でたくましく

夏休み楽宿in佐田岬

三崎公民館

夏休みが始まり、子どもたちに共同生活をとおして自然体験や日常生活の作業を体験し、たくましさや優しさを育てることを目的に7月28日から泊3日の「夏休み楽宿in佐田岬」が三崎公民館を主会場に行われました。

この合宿には、三崎地域の小学生19名が参加して行われ、さっそく開校式では班長を決めたり、朝・夕の献立決めから始まり、2日目のムーンビーチでの野外キャンプも含めた合宿生活が始まりました。

日常、家庭のお手伝い等で掃除、洗濯、買物、炊事等が得意分野の子どももや苦手

な分野など様々でしたが、2夜のレクリエーションや友だちと一緒に寝泊まりでは、昼間の疲れや時間も忘れて楽しそうな話し声が聞こえていました。

わずかな日程の合宿でしたが、この合宿で子どもたちは「不便」から様々な忍耐力と「不自由」からは自己主張の代わりに感謝する心・自立する心が養われたのではないでしょう。



ドッジボールで汗流し！そらめん流し！ 小学生交流ドッジボール大会

三崎公民館

地域の小学生が一堂に集い、スポーツに親しみながら交流を図ろうと7月18日(日)に三崎総合体育館において「平成22年度小学生交流ドッジボール大会」が行われました。

この日は、児童や保護者・体育協会役員など約140名が参加し、1～3年生の低学年・保護者がドッジボール。4～6年生の高学年がドッジビーを使つての競技となりました。コート内では、積極的に攻撃する選手やコート内狭しと逃げ回る選手など体育館内は歓喜の声が響き渡っていました。



競技終了後は、体育協会の方達が数日前から準備をしていた、「竹」を使つてのそらめん流しに涼ししたり、美味しそうに舌鼓みを打ちながら、校区を超えての交流が深められていました。



伊方スポーツ少年団 西日本大会でベスト8

7月23日から新居浜市で開催された、「第12回西日本小学生ソフトボール大会」に伊方スポーツ少年団が出場しました。この大会は、西日本から36チームが集まり本県からは地元開催でもあったため7チームが出場しました。伊方スポーツ少年団は、1回戦、2回戦を勝ち抜きベスト8へ進出。準々決勝の対戦相手は、県内の石井東ソフトボールスポーツ少年団。残念ながら、好機をいかすことが出来ず0対2で惜敗しました。



見遊館より

魚つりを作りましょう!

9月18日(土)午後2時から、魚つりを作りましょう! 参加される方は当日時間までに、3階見遊館にお越しください。 **参加費：無料**

映画上映会のご案内

9月11日(土)3階見遊館にて映画上映会を行います。室内が狭く、人数に限りがありますので早めにお越しください。

場 所 見遊館内集会室
作 品 名 海底3万マイル
上映時間 1回目 10:00~11:00
2回目 15:00~16:00



【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 見遊館 38-0211(内線856)

伊方スポーツセンター 2

第5期エアロビクス教室

- 19:30~20:20 **9月8日スタート**
- (内 容)
- 音楽に合わせて無理なく楽しくご自分のペースで体を動かします。初心者でも大丈夫!
- 受講料
※4回コース ¥2000
※1回コース ¥700
- 定員15名事前予約お願いいたします。

ヨガ体験教室

- 19:10~20:00 **9月16日(木)**
- (内 容)
- 9月30日から始まるヨガ教室の体験会を行います。初心者の方を対象とし、基本的なポーズを行い、綺麗なボディラインを作ります。初めての方、体の硬い方でも大丈夫!
- (受講料)
200円(施設使用料のみ)
- 定員10名事前予約お願いいたします。

なお、詳しいお問い合わせは下記にご連絡ください。
伊方スポーツセンター ☎38-1100
☎38-0776

北海道の自然を体感!!

～小学生国内派遣事業in北海道～



子どもたちに一番人気のラフティング体験



今年、泊村との交流は、朝食からスタート。はじめは緊張していた様子で、食事をしていましたが、時間がたつにつれて、少しずつうちとけてきたようでした。食事の後は、鯉御殿とまりの見学に行き、館長さんから今から300年前に鯉漁が全盛期の頃に建てられた当時の繁栄の象徴であることなどの説明を聞きました。次は、アイススケート体験をしました。この頃になると、泊村の子ども達とも会話が弾み一緒に滑ったりして親交を深めていきました。



くまと一緒に「ガオー」



お菓子作りに挑戦

泊村の交流会以外の体験は、引き馬体験や巨大ひまわり迷路、白い恋人パークでのお菓子作り、ラフティング、生キャラメル作り、有珠山西山山火口散策、有珠山ロープウェイです。なかでも、子ども達が一番楽しみにしていたラフティングは、全長8kmのコースを1時間かけて下っていきます。途中、ボート

からバドルを使って水を掛け合ったり、ボートから下りて川に入り、ボートを3個重ねてジャンプ大会などをしました。白い恋人パークでは、ハート型のクッキーにホワイトチョコでデコレーションして、みんなそれぞれの文字や絵を描いて世界に一つだけのお菓子を作りました。3泊4日の研修を通して、子ども達は初めての経験が沢山あったと思います。この貴重な体験を、いろいろな場面で活かしてもらいたいです。



三崎スポーツ少年団阿達真央さんの選手宣誓



7月17日(土)伊方町スポーツ少年団主催により、町内のスポーツ少年団が集い三崎小学校グランドでソフトボール5チーム、三崎小中学校体育館でミニバスケットボール

4チームの交流試合を開催しました。絶対の快晴の中、子どもたちのはつらつとしたプレーがどの会場でも応援するみなさんを沸かせていました。

町内の小学生がスポーツで交流



泊村子ども親善大使が来町

7月25日、きなはいや伊方まつりに姉妹町村縁組を行なっている北海道泊村から小学生16名と随行員4名が来町しました。イベント会場において本町の小学生と交流を深め、午後からはハウスみかんの摘み取り体験を行いました。

江田島自然教室

三崎中学校

毎年恒例になっております二年生江田島自然教室を、広島県江田島青少年交流の家で七月六日から二泊三日で実施しました。目的は、「集団生活のルールを身につけ、友情を深める。」こと、「平和について考える。」ことです。活動の中のリーダー訓練と平和学習について紹介します。

第一日目、講師の先生から訓練を受ける心得(主眼で協力、笑わない。)についての指導を受けリーダー訓練を行う。

約三時間、心を一つにしてこの心得を忠実に守り真剣に取り組むことができた。この姿に講師の先生方からも高い評価を受けました。

二日目は、世界で始めて原子爆弾による被害を受けた広島。その悲惨さと平和への願いを込めている原爆資料館・平和公園・原爆ドームを見学しました。



見学の前に、昨年度三崎地域人権講演会で来校して頂いた、広島在住の渡部朋子さん・岡田恵美子さんに被爆体験と平和についての講話を頂いた。原爆資料館見学では、核兵器と人類は共存できないことや原爆投下は、一般市民を犠牲にした戦争の象徴であることを学んだ。

平和公園の見学では、三崎中「折り鶴の旅プロジェクト」で折った千羽鶴を原爆で亡くなった多くの子どもたちを慰霊し、平和を守るための記念の像「原爆の子の像」に捧げた。

最後に碑文に「安らかに眠ってください。過ちは繰り返しませんから」と記されている原爆死没者慰霊碑の前で、戦争の悲惨さと平和のありがたさを感じながら記念撮影を行った。



親子ふれ合い魚つり大会 (in 中之浜)

水ヶ浦小学校

終業式直前の7月19日(日曜日)。前日までの長雨が、嘘のように晴れて絶好の釣り日和になりました。恒例の魚つり大会ですが、今年恒例の魚つり大会ですが、今年恒例の魚つり大会をねらいに、親子ふれ合い魚つり大会としました。親子ふれ合い魚つり大会としました。たくさんのお父さんやお母さんに参加をしてもらい、児童たちも笑顔いっぱいでした。仕掛けは、昔ながらの竹竿に一本針です。それでも児童たちは、6匹、7匹と釣り上げていきます。中にはタコを釣り上げた児童もいて、大歓声があがっていました。魚影の濃さに



ビックリです。素晴らしい自然が残るふるさとを堪能したと思います。また、地域の老人会の方にはいつもお世話になっているのですが、今回も準備や指導をしていただきました。児童も老人会のおじいちゃんとても仲良しで、「おっちゃん釣れたよ」、「はずしてやるけんこっちもってこい」と大変楽しそうでした。つり大会が終わったら、お母さんが準備したカレーをみんなで食べ、デザートのスィカでこれから始まる夏休みに期待をふくらませています。





図書館だより



9月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

○…おはなし会

■…休館日・蔵書点検日

利用案内

■開館日時／火曜日～日曜日 午前9時30分～午後6時

■休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日も)
祝日、月末図書整理日、年末年始、蔵書点検日

■瀬戸・三崎地域の方へ

瀬戸町民センター・三崎公民館で図書と雑誌の返却ができます。

伊方町立図書館(伊方町生涯学習センター2階)

愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1992番地

TEL(0894)38-0607

新着図書

●オススメ



●みんなの宇宙授業

／中川人司 著、中川沙矢佳 著、
佐藤 諭 まんが

〈内容紹介〉

地球・月・星・太陽系・宇宙論、宇宙開発…。宇宙のことを、ヘンテコリン星人とコスモちゃんの楽しいまんがを交えてわかりやすく解説。



●おじいちゃんのSLアルバム

／佐竹保雄写真・原案、小風さち 文

〈内容紹介〉

おじいちゃんは今でもSLが大好き。SLが日本中で活躍していた頃撮った写真で、きみのために「SLアルバム」を作ってみました…。SLの写真を通して交わされるおじいちゃんと孫の交流を描いた。

《児童》

- めいたんていポアロン /三田村 信行 作、大沢 幸子 絵
- いのちを伝えて /山口 理 著
- 時のかなたの人魚の島 /富安 陽子 著、大庭 賢哉 絵
- もっとおおきなたいほうを /二見 正直 作
- いいからいいから④ /長谷川 義史 作
- だーれかなだーれかな /カズコ・G・ストーン さく
- はなのさくえほん /いしかわこうじ 作・絵

ほか



●KATANA

／服部 真澄 著

〈内容紹介〉

民間軍事コングロマリットのCEO・兵藤は、裏では米情報機関にフリーランサーとして雇われている。ある日、彼は元同僚を通じて、情報機関から銃マーケットの調査を命じられ…



●母ーオモニー

／姜 尚中 著

〈内容紹介〉

遺品の中から見つかったテープは、文字の書けなかった母から息子への遺言だった…。日本全体が貧しく、家族間の体温が熱かったあの時代の感触が甦る、著者初の自伝的小説。

《一般》

- ブレイズメス1990 /海堂 尊 著
- 赦し /矢口 敦子 著
- 星と輝き 花と咲き /松井 今朝子 著
- バイバイ、ブラックバード /伊坂 幸太郎 著
- やっちゃれ、やっちゃれ /坂東 真砂子 著
- プラチナデータ /東野 圭吾 著
- 思い出コロッケ /諸田 玲子 著
- 終わらざる夏 上・下 /浅田 次郎 著
- 命の授業 /腰塚 勇人 著
- 辣油(らーゆ)の達人 /杉本 恵子 監修

ほか

〈お知らせ〉

9月8日(水)～9月17日(金)は蔵書点検のため、休館いたしますので、ご理解ください。

この期間に本・雑誌を返却される方は、生涯学習センター1階入り口横の返却ポストをご利用ください。

CD・DVDは破損する恐れがあるため、9月18日(土)に直接カウンターまでお持ちください。

ピップスおはなし会のごあんない

～ 今月のおはなし会 ～

日 時：11日(土)・25日(土) 午後2時～

場 所：図書館 おはなしコーナー

11日は児遊館で行います。

対 象 者：未就学児童および親子

小学校低学年児童

絵本や紙芝居などたのしいおはなしを聞かせてくれるよ。みんな、きてね!



打瀬船と移民の歴史に脚光!

伊方町内、とりわけ伊方地域の宇和海側では、かつて明治後期に伝わったとされる打瀬船という船を使った漁が盛んでした。そして、この八幡浜・西宇和地域を中心に、大正期以降、その打瀬船に乗って、はるか遠くアメリカへ渡り、移民を果たした人々がいたのです。
近年こうした先人たちの偉業に注目が集まっています!

国立歴史民俗

博物館に展示

故・井上千芳さん(豊之浦)
撮影の写真

千葉県佐倉市にある国立歴史民俗博物館では、現在「特集展示 アメリカに渡った日本人と戦争の時代」が開催されています(平成23年4月3日まで)。この中で、とくにアメリカ移民が盛んだった真穴村(現・八幡浜市)のことが詳しく紹介されているのですが、そこに、豊之浦の故・井上千芳さん撮影の写真が、大きなパネルで展示されています。井上さんが昭和12年頃に、地元豊之浦から宇和海に浮かぶ在りし日の打瀬船を撮ったもので、今では二度と撮ることの出来ない貴重な遺産ともいえるべき写真です。ここからアメリカを目指したであろう当時の宇和海沿岸の

浦々の様子をリアルに浮かび上がらせています。
ちよつと遠方ですが、ぜひこの機に展示を見に出かけてみませんか?



井上さんの写真パネル(手前は、八幡浜市所蔵の打瀬船模型)

アメリカに打瀬船の模型を制作・寄贈

吉谷利一さん(大浜)、八幡浜市「北針」の依頼で

いっぽう、移民の盛んだった八幡浜市真穴の地域振興協議会「北針」(松浦有毅代表)が、今夏アメリカ・ロサンゼルスで開催される南カリフォルニア州人会創立一〇〇周年記念式典に出席するのを機に、先人が打瀬船に乗って苦難の末に漂着した米国西海岸のポイントアリーナ市の

図書館へ、打瀬船の模型を寄贈する計画をし、大浜の吉谷利一さんに制作を依頼しました。吉谷さんは、現在もきさら館2階に展示中の打瀬船模型を、かつて前述の井上さんらとともに制作しており、今回の依頼となったもの。松材で3分の1スケールの精巧な模型を制作し、さる7月下旬



模型を制作する吉谷さん

には、八幡浜市庁舎で、大城八幡浜市長や北針メンバーの皆さんとともに、完成した模型のお披露目を兼ねた贈呈式がありました。

海を乗り越えた先人たちの偉業と、その顕彰に貢献した井上さんの遺産、吉谷さんの活躍―同じ佐田岬半島人として嬉しく、また誇りに思いたいものです。

町見郷土館企画展

オチョッポの軌跡

—「座」と「椅」のライフスタイル—

8月28日(土)～9月26日(日)

オチョッポ(正座)して使った道具から、椅子に腰掛け
て使う道具まで、「すわる」をキーワードに暮らしを振
り返ります。

企画展関連行事

「すわる」で自分と向き合おう♪

座禅体験 in 伝宗寺

参加者大募集!

平成22年9月12日(日) 10時～11時

四国最西端の古刹—伝宗寺で「すわる」体験。新しい自分を発見
できるかも!?

参加希望者は9月9日(木)までに町見郷土館に名前・年齢・住所・
連絡先をお伝えください。

佐田岬の自然スライド上映会

「野の花にみる
生物多様性」

9月22日(水) 19:00

半島の花々に見る生物多様性
の光と影! お気軽に。

◆ 今月のきょうどかん ◆

2010年 9月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

■=おやすみ □=夜スライド上映

TEL・FAX 39-0241
(不在の場合)38-2661 生涯学習課
開館時間 9:30～16:30
休館 月曜日ほか

地瓦の印章

青い空と海に挟まれた深緑の傾斜地、
その狭間に折り重なる屋根瓦の波：
佐田岬半島を象徴する集落景観には、
古い屋根瓦の佇まいも重要な要素のひ
とつ。洗った銀の古瓦の風合いは
新しいそれには出せない魅力がありま
す。

時々この古瓦の小口面
を見てみてください。各
集落にあった地瓦屋の印
章が付いている物が時々
あります。これも往時の製瓦業の広が
りや、その流通範囲を知る、大切な歴
史の痕跡です。

左の図は、町見郷土館が町内の家屋
で収集した「瓦拓」の一部。かつて
点在したであろう巷の瓦屋さん情報、
お寄せくださると幸いです。

佐田岬民俗ノート

64

「三崎源」

「松吉久大」

「九町清太」

「伊方久米治良」

「二見伊勢」



第57回 四国地区人権教育研究大会に参加して

伊方町人権教育協議会 石本 和子

同和問題をはじめとする様々な人権問題の差別の現実に学び、自ら実践できるものは何かを見出すために、今回もこの研究大会に参加させていただきます。

今回は、特別部会で『現代の性同一性障害』当事者からの提案』の実践報告に学ぶ機会を得ました。

報告者からは、はじめに現在の性同一性障害の現状について、起因性や自己認識者の増加傾向や世界の動向等の説明がありました。また、参加者(フロアー)へは、あなたの接している子どもたちの中にセクシャルマイノリティーの子どもがおりますか?、突然こう聞かれたらあなたはこう答えますかと問いかけ、うちの学校にはいないよ。」「まだ小さいからそんな問題はないよ。」「いるかも知れないけど・・・わからない」「セクシャルマイノリティーって・・・何?」など、自分の問題では無い、関心が無いと思われる方々が大半ではないでしょうか。」と訴えていました。

つぎに報告者は、自分自身の体や容姿などの生い立ちと、その障害に対する学校・社会・家族の偏見や差別について報告があり、この障害に対する啓発や周囲の理解が必要であるとまとめられました。

私は、この報告を聞いて共感したのは、大切なのは外見や本人では変えようのないことで、その人の全てを決めてはいけない。まして、そんな理由で差別などする方が変だと思っ。私たちの周りには色々な人がいます。色々な人たちがいて当たり前前社会が



成り立っていると思えば、不合理な辛い思いをしないでよい人達がどんなに大勢いることでしょう。あらゆる人権問題に対しても解らないではなく、少しでも理解しようとしてみて下さい。そんな風に考えただけでも、一歩踏み出したような気持ちになりませんか。

私は、これからも同和問題を柱としたあらゆる人権問題の解決に向け、出来ることから実践して参りたい。この研究大会に参加して再認識をいたしました。

セクシャルマイノリティーとは 同性愛者、半陰陽者、性同一性障害など、異性愛が規範であり絶対とされる性のあり方から外れる、異端視される人たちの総称。全体的にみて少数者であることから性的な少数者、性的マイノリティーとも言われる。

第57回 四国地区人権教育研究大会が7月1・2日の両日、高松市アルファあなびぎホールをメイン会場として開催されました。本大会は、「四国はひとつしを合い言葉のもと57回目を数え、同和問題をはじめ様々な人権問題の解決に向け長年の研究と実践により、着実に成果をあげてきました。しかし、今なお差別は根強く存在し人権侵害は後を絶たず、高度情報化、少子・高齢化等の社会変化に伴い新たな人権問題が生じています。今大会は、これまでの成果と手法を大切にしながら、人間の尊厳と人権の確立をめざし、人権教育の在り方と様々な人権問題を解決する実践の道筋を明らかにすることを目的に開催されました。企画行事においては、香川県立農業経営高等学校生徒十数名による、拓心太鼓のすばらしい演奏にまず感動をしました。分科会では、香川県立ミュージアム講堂にて「人権確立をめざす地域の教育力」に関する報告を聴講しました。越智郡上島町の四町の合併による文化の違いにより、人権意識に差異があるため各地域において人権教育協議会と学校が連携をし、研修や人権同和教育参観日を開催。公開授業や人権劇などの取り組みをとおして教職員、保護者、地域住民一人一人が自分自身の問題として捉え、差別の解消に向けた意見交換などを行っているなど多様な取り組みの実践報告。高知県の西山識字学級のフィリピン人の報告者による、外国人に対する差別、言葉の差別問題等の実践発表。



生涯学習課 堀口 幸作

また、徳島県のことでも人権ふれあい活動推進協議会からは、ハンセン病(伝染力が強いという間違った考え方より、昭和6年にライ予防法を成立し国が強制隔離を実施。平成8年にこの法は廃止されたが、未だに社会における偏見・差別が残っている)による国立療養所大島青松園の方々と交流活動についての報告がありました。間違った考えによって生まれる差別偏見により自由を奪われ、結婚・出産、家族全てを失い、大島で人生の終焉を迎えるという国による隔離政策の問題点があげられました。とかく人間というもの、容姿や、風評等による思いこみ差別をし、権力の強い方に傾き自分の居場所を安泰したいと思う気持ちがこの様な差別を生んだのではないかと感じました。この報告から、自分自身の心の改革と差別を許さないとと思う価値観や、正しい知識を育むことが大切であることを再認識できた研修会でありました。

文芸

伊方俳句会

漁船は往く一枝そよがぬ大暑
かな 井上良枝

土用丑犬と分け合ふ大うなぎ
山崎美喜

静寂の里は限界蟬しぐれ
上田幸香

夕風やはるかの日振くつきり
と 渡辺日出子

近道は石段多し俄雨
上田サチエ

主人待ち木蔭に座る仔犬愛し
石井義夫

待ち合はせしやがめば草を抜
門田千枝

く手癖 門田千枝

大輪に歓声あがる大花火
篠川勝子

夏祭風船残し曾孫去ぬ
明神つた子

蜘蛛の糸まつわる朝の庭手入
れ 長野しづこ

朝一番囀り近し海平ら
上田益男

久びさに父母に侘びつつ墓洗
ふ 松下兼繁

街薄暑杖に思案のクラス会
田中初子

朝蟬のぴたりと止みて炎の空
池田君子

夏越祭餅まきを待つ人集ふ
足利敦子

剪定の小枝胡瓜の下に敷く
菊池ましえ

笹飾り思ひおもひの願ひ言
梶谷千代子

初夏の峰スプリンクラー水踊
る 宇都宮睦子

新盆の兄を偲びて灯を点す
亀井成美

人形に健康願ひ輪をくぐる
篠川晴子

瀬戸句会

伸びる草休みを知らぬ大暑か
な 宇都宮法子

新涼の風百礎を登り切り
二宮寿賀子

高祖父の植えし老松石の庭
上田文男

松涼し根っこで憩ふ徒遍路
木戸悦子

カンカン照り蜂の巣穴は黒々
と 浅井ミドリ

思い切り天に向かいてミニひ
まわり 加藤慶子

独り居に黒澤映画夜の新樹
佐々木 照

豌豆を貰い夕餉は豆尽くし
佐々木禮子

暮れ近しトンボすいすい膝か
すめ 佐々木サチ子

溪水で喉を潤し蟬時雨
佐々木忠雄

これこそはおふくろの味豆御
飯 福岡 博

北斗の会

草むしり岬の恵みの風を受く
吉見福子

夕涼みは死語となりしか平成
の世 岡本 登

撫子よわれを慰めいつまでも
結城 勵

散華せし兄は歳下墓洗う
北 英之

逃げる子をやつと宥めて踊の
輪 井上幸子

満ちたりし一日を閉じん醉美
蓉 大星幸子

旅立ちの日を決め難し梅雨最
中 伊藤植美

感謝込め農日記書く夏座敷
井上奈津子

絵にしたき初生りトマト茄子
胡瓜 佐々木順子

恐ろしき水害語る古老かな
藤村富士子

あみだ句会

咲き満ちし牡丹雨に崩れけり
松本ツタ子

消毒の車行き交う梅雨晴間
西上ミツヨ

不揃いの向日葵げんき老いの
庭 松本光子

日焼け顔クロッケー大会球は
ずむ 宮部タミエ

野良犬の昼寝二匹の横たわり
中村千代香

毎日の被害のニュース温暖化
池上松子

山荒れて分け入る道なし蟬し
ぐれ 高月 仁

消防ホース干されて終へる溝
浚へ 木原敬明

梅雨ごもり記憶のあの日この
日かな 阿部ヨシ子

車窓過ぐ緑の中の立葵
塩崎信子

ひい孫の生れしひびきや梅雨
も明け 池上 馨

炎天下汗の目にいるクロッケー
池井為吉